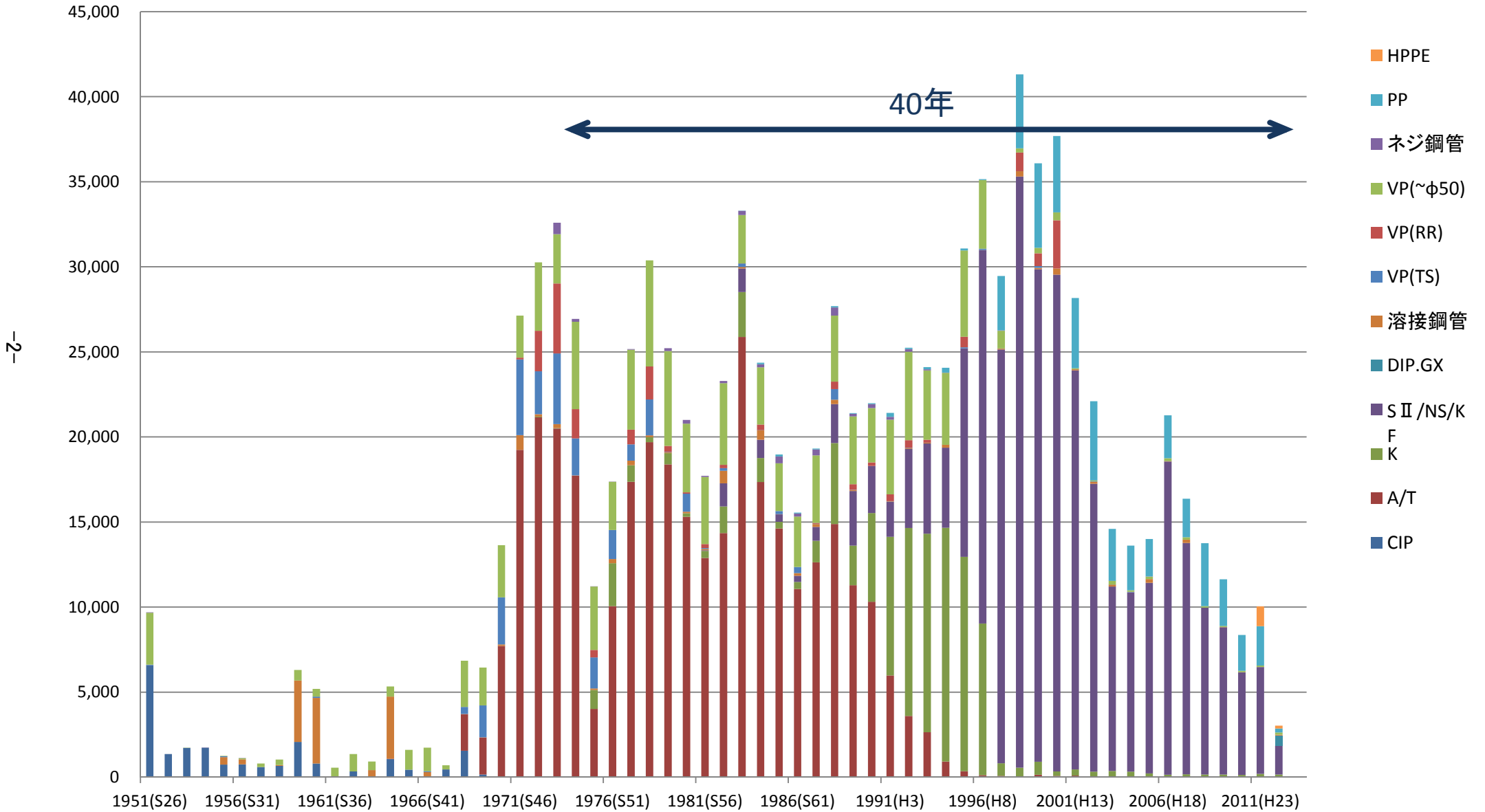


# 管種別布設延長

別紙1



## 管路の更新基準年数について

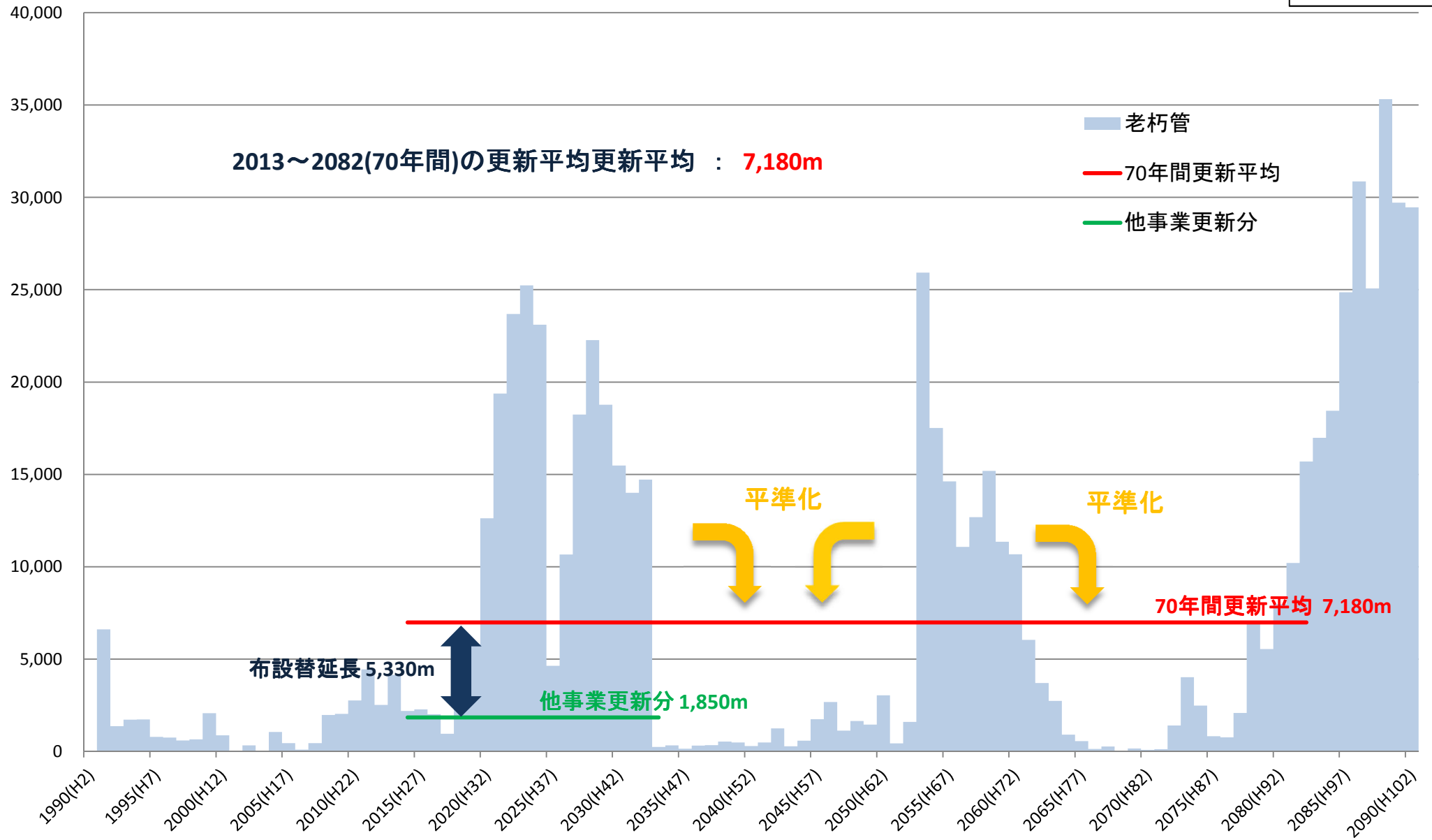
別紙2

管種				法定耐用年数	鳥取市水道局基準	実使用年数での設定例(※)
	耐震	濁水	漏水			
ダクタイル鋳鉄管(耐震形) DIP-NS、SⅡ、S・KF、US・UF・GX	○	○	○	40年	100年	60年～80年
ダクタイル鋳鉄管(K形) DIP-K	△	○	○	40年	70年	60年～80年
ダクタイル鋳鉄管(A・T形) DIP-A、DIP-T(～S57年度)	△	△	○	40年	50年	60年～80年
ダクタイル鋳鉄管(A・T形) DIP-A、DIP-T(S58年度～)	△	○	○	40年	70年	60年～80年
鋳鉄管 CIP	×	×	×	40年	40年	40年～50年
溶接鋼管	○	○	○	40年	70年	40年～70年
ネジ継手鋼管	×	○	○	40年	50年	40年～70年
硬質塩化ビニル管RR(ゴム輪)継手	△	○	○	40年	50年	40年～60年
硬質塩化ビニル管TS(接着)継手	×	○	×	40年	40年	40年～60年
水道用ポリエチレン二層管	△	○	○	40年	50年	40年～60年
配水用ポリエチレン管	○	○	○	40年	100年	40年～60年

※厚生労働省のアセットマネジメント「簡易支援ツール」における設定例

# 老朽管更新計画

別紙3



## 応急給水拠点第 2 次整備計画について

### 1. 応急給水拠点第 2 次整備

平成 7 年度から管路更新に耐震管を使用し、現在まで毎年更新時に管路の耐震化を実施してきました。平成 27 年度末の本市の管路耐震化率は約 32.2% となり、徐々に整備が進んできた耐震管路を使用して、震災時応急給水拠点から自宅までの水道水の運搬距離がおおむね 1 km 以内になるように、各地域の拠点を追加していく第 2 次整備計画を策定しています。具体的には、避難所や避難場所から選定した応急給水拠点付近の地下式消火栓までのルートを決め、その管路更新を優先的に実施することで行います。

### 2. 整備の概要

- ・鳥取国府地域の新設応急給水拠点 41 か所
- ・新設応急給水施設 鳥取市役所新庁舎 (新規計画)
- ・河原地域、青谷地域の新設応急給水拠点各 3 か所  
河原地域：河原中学校、河原町総合支所、曳田浄水場  
青谷地域：青谷中学校、青谷小学校、青谷町総合支所
- ・応急給水方法：消火栓に簡易な応急給水栓を設置



応急給水栓の例 (明和工業株式会社)

### 3. 整備計画事業費 事業費総額 約 16 億円 (平成 29→30～43 年度)

- ・平成 30～37 年度までの事業費 約 11 億円

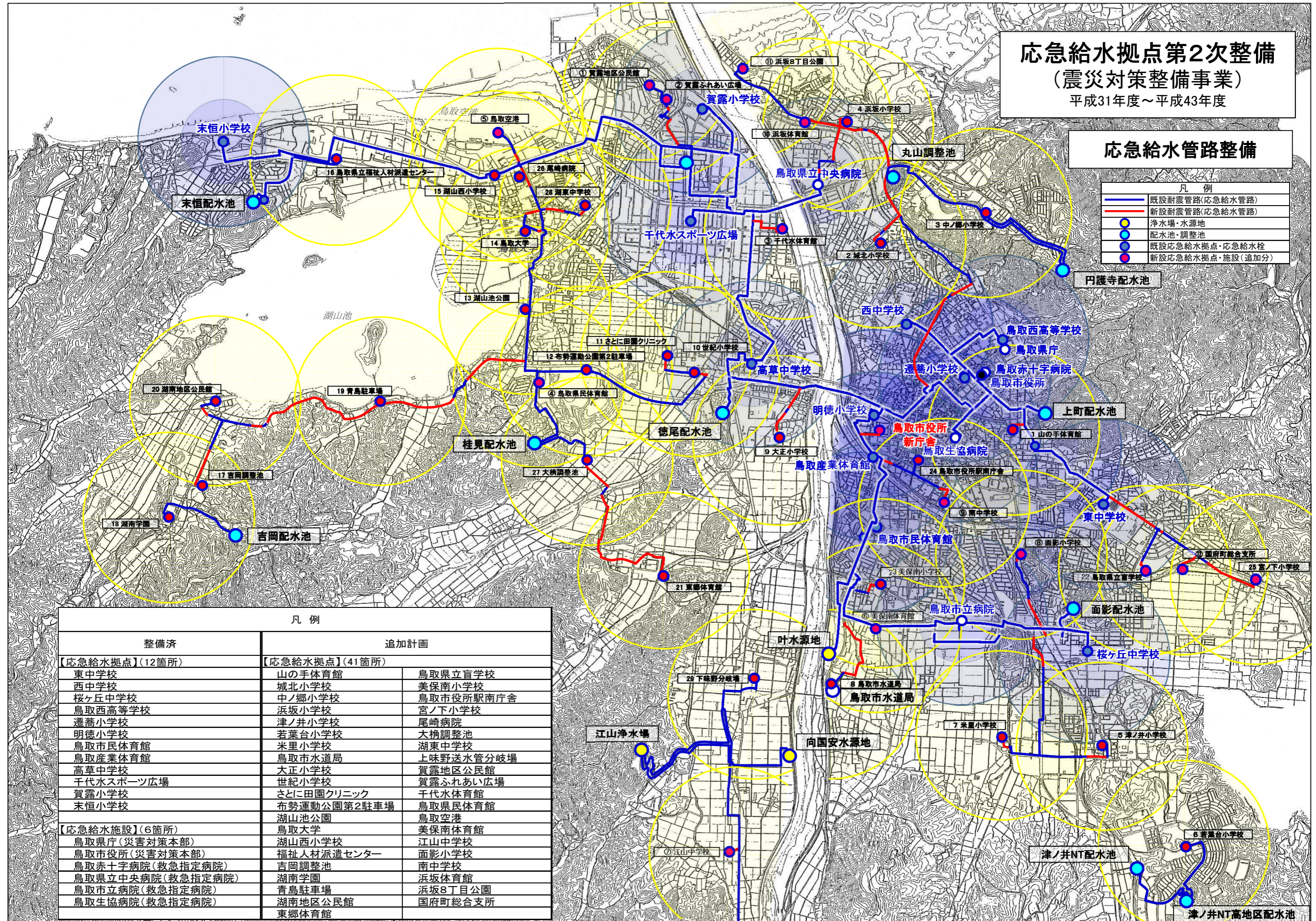
# 応急給水拠点第2次整備 (震災対策整備事業) 平成31年度～平成43年度

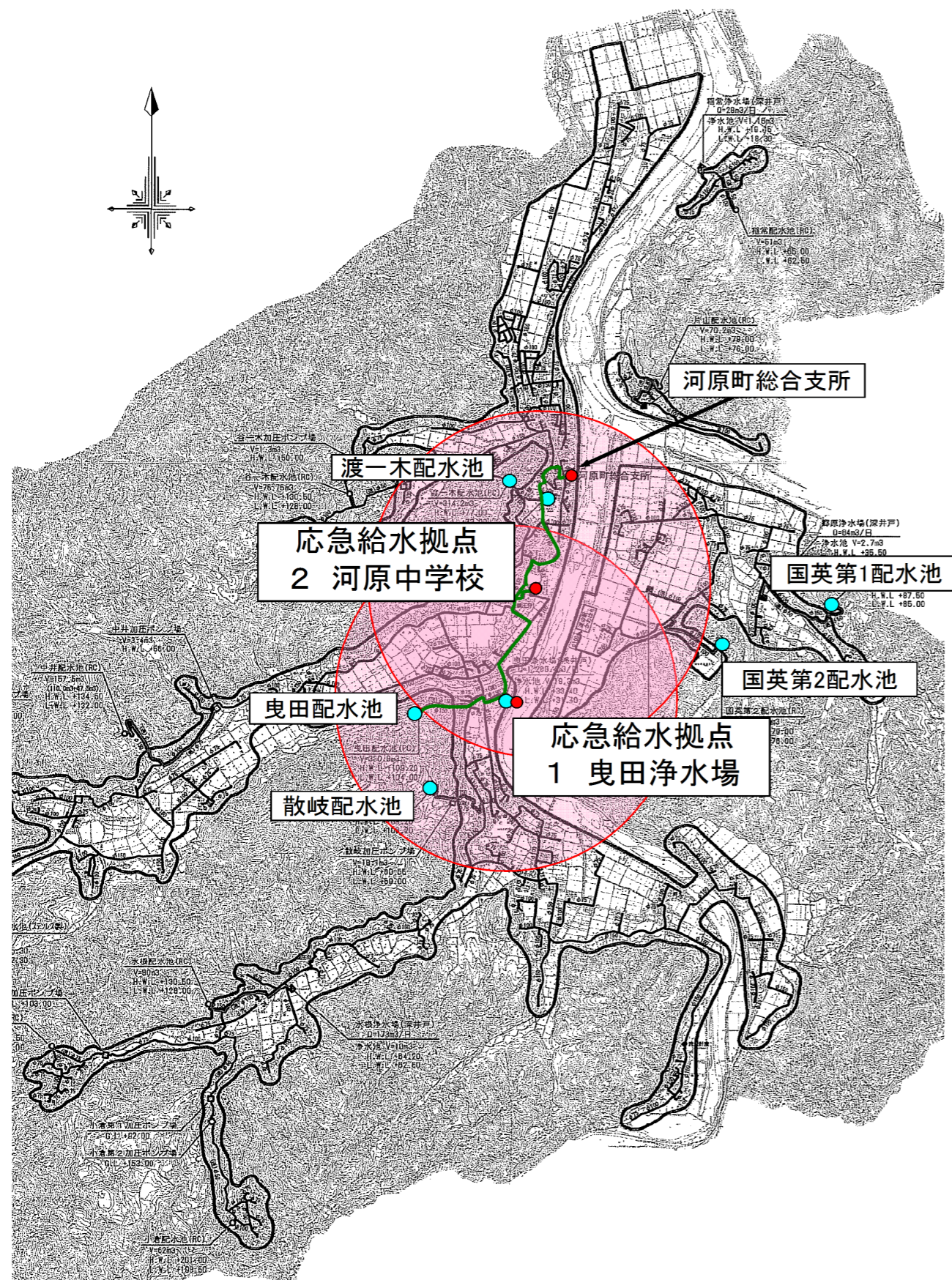
## 応急給水管路整備

凡例

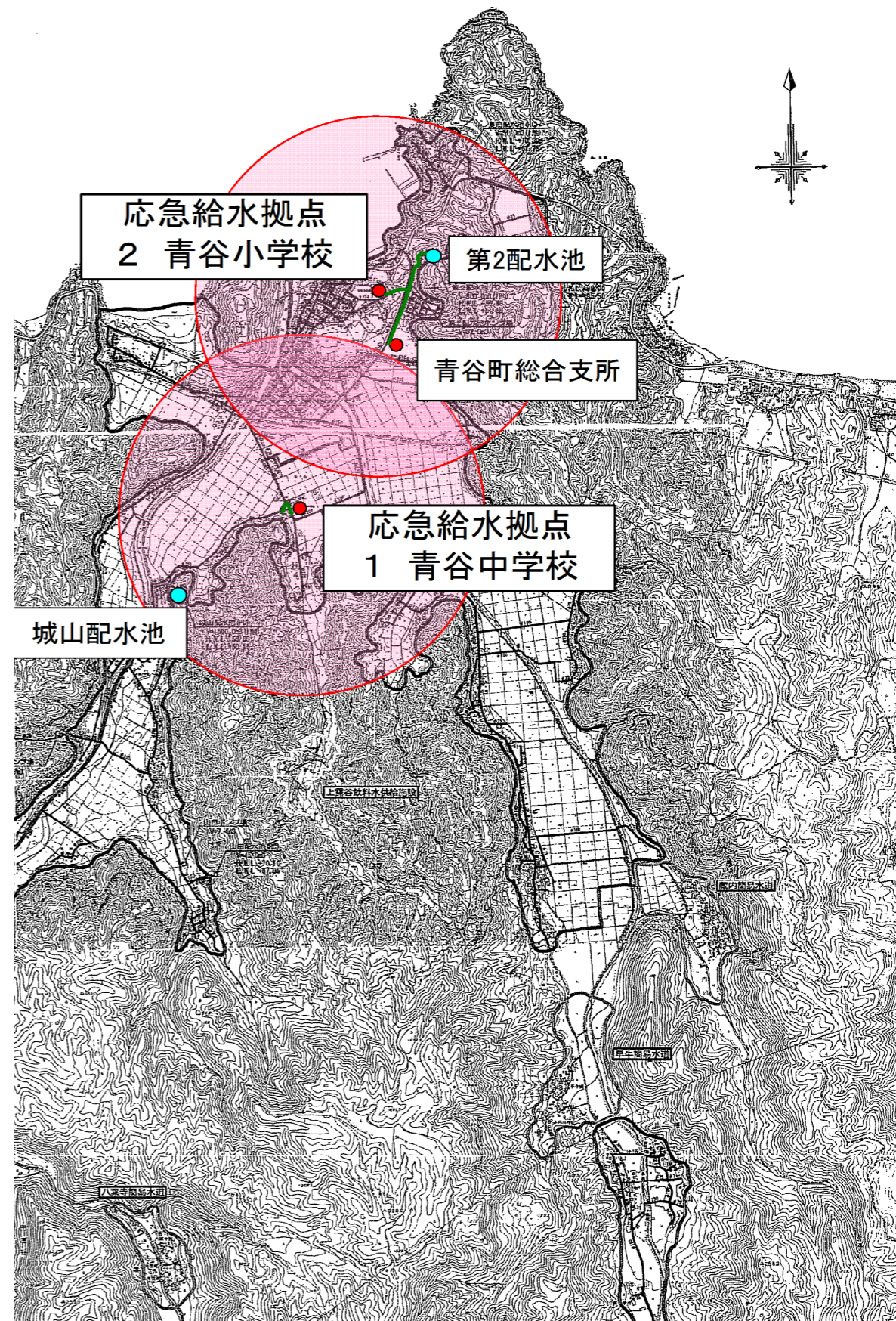
	既設耐震管路(応急給水管路)
	新設耐震管路(応急給水管路)
	浄水場・水源地
	配水池・調整池
	既設応急給水拠点・応急給水栓
	新設応急給水拠点・施設(追加分)

凡例	
整備済	追加計画
【応急給水拠点】(12箇所)	【応急給水拠点】(41箇所)
東中学校	山の手体育館
西中学校	城北小学校
桜ヶ丘中学校	中ノ郷小学校
鳥取西高等学校	浜坂小学校
遷善小学校	津ノ井小学校
明德小学校	若葉台小学校
鳥取市民体育館	米里小学校
鳥取産業体育館	鳥取市水道局
高草中学校	大正小学校
千代水スポーツ広場	世紀小学校
賀露小学校	さとに田園クリニック
末恒小学校	布勢運動公園第2駐車場
【応急給水施設】(6箇所)	湖山池公園
鳥取県庁(災害対策本部)	鳥取大学
鳥取市役所(災害対策本部)	湖山西小学校
鳥取赤十字病院(救急指定病院)	福祉人材派遣センター
鳥取県立中央病院(救急指定病院)	吉岡調整池
鳥取市立病院(救急指定病院)	湖南学園
鳥取生協病院(救急指定病院)	青島駐車場
	湖南地区公民館
	東郷体育館
	鳥取県立盲学校
	美保南小学校
	鳥取市役所駅前庁舎
	宮ノ下小学校
	尾崎病院
	大橋調整池
	湖東中学校
	上味野送水管分岐場
	賀露地区公民館
	賀露ふれあい広場
	千代水体育館
	鳥取県民体育館
	鳥取空港
	美保南体育館
	江山中学校
	面影小学校
	南中学校
	浜坂体育館
	浜坂8丁目公園
	国府町総合支所





河原地域



青谷地域